

■土木学会からの提案一覧

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
1	1章 設計	1.1 設計時3次元で配筋が可能なことを検証する	3次元モデル等で鉄筋同士が干渉しないことの確認	②検討段階 (CIM活用について検討中)
2			3次元モデル等により鉄筋組立コンクリートの打込み等の施工性の確認	②検討段階 (CIM活用について検討中)
3		1.2 設計段階で施工性に配慮した配筋とする	コンクリート投入孔およびバイブレーター挿入孔を図面へ明示	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
4			機械式継手を同一断面に集めた仕様を活用できる環境を整備	②検討段階 (ガイドライン策定を検討中)
5			鉄筋継手工法が採用されやすい環境を整備	②検討段階(ガイドラインの検討中)
6			機械式定着を活用できる環境を整備	①対応済(機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドラインを直轄工事に活用)
7			部材厚が大きいカルバートの主鉄筋の標準配筋間隔を125mmから150mmへ変更	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
8		1.3 躯体形状を合理化し、鉄筋型枠組立、コンクリート施工をシンプルにする	部材接合部の設計方法の規定を検討(ボックスカルバートの隅角部や水平・鉛直部材の接合部のハンチの有無や形状等)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
9			施工性を考慮した構造が選ばれるような積算体系を検討(擁壁の縦壁を傾斜形状から直立形状へ等)	②検討段階 (全体最適とあわせ検討)
10			施設・設備に関連する構造(施設箱抜形状)の単純化および規格化する規定を追加	②検討段階 (全体最適とあわせ検討)
11	1章 設計		コンクリート内に埋設できるスパーサの材料の規定を検討	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
12		1.4 新材料新工法を活用する環境を整備する	埋設型枠を構造断面やかぶりとしてみなす規定を整備	②検討段階(埋設型枠に関するガイドラインの検討中)
13			仮設物の本体工への積極的活用により生産性の向上を図る(土留壁や土留支保工等の仮設物)	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
14			鋼繊維補強コンクリートを構造部材へ適用できる規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
15		1.5 発注の設計指針類および示方書の標準での合理的な構造細目を整備する	軸方向鉄筋の機械式定着を活用するための規定を検討	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
16			主筋の定着長内での折曲げ仕様の規定を検討(折り曲げて鉄筋同士の干渉を解消)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
17			鉄筋の曲げ形状の合理的な仕様規定を検討(曲げ内半径等の規定)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
18			せん断補強鉄筋の直角フックの適用可能範囲を明示する規定を検討(現在の規定では半円形フック、鋭角フック)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
19			薄いスラブの定着長が1.3倍となる規定を見直す(打込み終了面から300mmの深さより上方に位置する鉄筋の基本定着長)	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
20			場所打ち杭の帯鉄筋にフレア溶接を活用するための規定を追加	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
21			溶接閉鎖形帯鉄筋を活用できる規定を追加	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
22			重ね継手の太径鉄筋での使用制限の規定を追加	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
23	1章 設計		合理的な重ね継手の規定を検討(重ね継手を同一断面に集めることの検討)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
24		1.5 発注の設計指針類および示方書の標準での合理的な構造細目を整備する	あき重ね継手の規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
25			軸方向鉄筋への高強度鉄筋を活用するための規定を検討(SD490を超えるものは規格化されていない)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
26			高強度せん断補強鉄筋を活用するための規定を検討(降伏強度800N/mm ² を超えるものは規格化されていない)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
27			部分的なかぶり不足対策に防食鉄筋を活用できる環境を整備	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
28			面部材でのせん断補強鉄筋の最大配置間隔を検討(部材の厚いスラブ、フーチング、壁等)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
29	2章 施工	2.1 コンクリートの仕様選択の自由度を上げる	発注時にコンクリートのスランプを規定しない	②検討段階(スランプ規定の見直しにおいて検討中)
30			高流動コンクリートの選択が可能な規定を検討	②検討段階(流動性を高めたコンクリートの活用に関するガイドラインの検討中)
31			振動・締固めを必要とする高流動コンクリート(中流動コンクリート)の選択が可能な規定を検討	②検討段階(流動性を高めたコンクリートの活用に関するガイドラインの検討中)
32			流動化剤の適宜使用を可能とする規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
33			水中不分離性コンクリートの適用条件を拡大できる規定を追加	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
34			逆打ち部の施工方法の規定を追加	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
35	2章 施工		許容打重ね時間間隔の設定の自由度を向上させる規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
36		2.2 打込み規定の自由度を向上させる	練混ぜから打終わりまでの限界時間の設定の自由度を向上する規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
37			合理的な養生方法の規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
38		2.3 鉄筋の組立の自由度を上げる	鉄筋の結束を合理化する環境を整え、技術開発を推進(焼きなまし鉄線やクリップ以外での結束)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
39			D25以下の鉄筋は定尺鉄筋(50cm刻み)を用いた配筋とする	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
40		2.4 新たな検査手法・検査制度の環境を整備する	ICT技術を用いた検査手法を活用できる環境を整備	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
41			発注業務、工事監理業務を第三者機関で代行できる環境の整備と検査基準を明確化する	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
42	3章 プレキャストコンクリート	3.1 プレキャストコンクリートの形状の規格化により生産性向上を図る	プレキャストコンクリートの形状の規格化により生産性向上を図る	③直ちに検討に着手(H29以降対応予定)
43		3.2 工場製品に用いるスペーサの低減を図る規定を検討、整備する	工場製品に用いるスペーサの低減を図る規定を検討(場所打ちの規定が工場製品に適用されている)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
44		3.3 プレキャストコンクリートの設計法を明確にする	薄肉断面の曲げひび割れ強度算定式を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
45			エポキシ樹脂塗装鉄筋使用時の耐久性を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
46			低水セメント比コンクリート使用時の耐久性照査を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
47		3.3 プレキャストコンクリートの設	プレキャスト部材における全数継手の適用を拡大	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
48	3章 プレキャストコンクリート	計法を明確にする	薄肉部材の単鉄筋における同一断面全数重ね継手部の規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
49		3.4 プレキャストコンクリートの使用材料の選択肢を拡大する	リサイクル材料の活用の規定を検討	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
50			各種膨張材が採用されやすくなる規定を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
51		3.5 コンクリート標準示方書へのプレキャストコンクリートの章の新設と用語の整理をする	コンクリート標準示方書へのプレキャストコンクリートの章の新設と用語の整理	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
52		3.6 プレキャストコンクリートの施工法・品質管理方法を明確化する	点溶接を鉄筋の組立に活用するための環境を検討	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
53			プレキャスト製品の強度管理方法を検討(温度追従養生による供試体で管理)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
54			工場製品の適切な養生方法を選択できる環境を整備(コ示の工場製品の養生法によらない)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
55		3.7 プレキャストコンクリートの施工計画における留意点・検査基準を明確にする	プレキャストコンクリート工法の施工計画における留意事項を検討(現場への搬入・敷設重機の選定・設置場所の確保等)	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
56			工場製品の外観基準を検討	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
57	4章 発注, 契約, その他	4.1 設計時の照査条件を施工側に引き継ぐ	設計時に必要に応じて温度応力解析を実施し, 検討条件を施工側に引き継ぐ	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
58			設計時に設定したひび割れ幅を施工側に引き継ぎ, 補修すべきひび割れ幅を事前に設定する	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
59		4.2 土木設計を考慮した施設計画を行う仕組みを構築する	土木設計を考慮した施設計画を行う仕組みを構築する(非常電話・消火栓、埋込み金物等の施設計画)	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める

コンクリートライブラリーの提案内容				国交省としての対応(案)
No.	章	項目	提案内容	
60	4章 発注, 契約, その他	4.3 設計照査, 修正の所掌範囲を明示する規定を追加する	設計照査, 修正の所掌範囲を明示する規定を追加する	④研究開発等の進捗にあわせて、検討を進める
61		4.4 プレキャストコンクリートの活用を推進する仕組みを検討する	プレキャストコンクリート工法の積算方法を検討	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
62			コンクリート構造物の建設に伴う環境負荷を評価できる積算方法を検討	③直ちに検討に着手 (H29以降対応予定)
63		4.5 単年度発注により年度末が工期末となるのを減らして施工時期を平準化する	単年度発注により年度末が工期末となるのを減らして施工時期を平準化する	①対応済